



大阪・関西万博 大阪ウィークで 吹田の伝統・魅力を発信

大阪各地の魅力を発信するイベント「大阪ウィーク」。5月に開催された春の陣では、西奥町地車の展示や迫力満点の実演が行われました。7月に開催された真夏の陣では、市民約100人による山田権六おどりが披露され、会場は熱気に包まれていました。また、吹田くわいの歴史や魅力

力を伝える展示、紙芝居を行うとともに、吹田くわいを使った商品の販売が行われました。

9月に開催される秋の陣では、一般的には障がい者の芸術として知られているアール・ブリュットが展示される予定です。



山田権六おどりの様子



西奥町地車の様子

大阪エヴェッサからバスケットゴール寄贈

プロバスケットボールBリーグ「大阪エヴェッサ」を運営するヒューマンプランニングから、青少年クリエイティブセンターの光のひろばにバスケットゴールが寄贈されました。贈呈式には、吹田市出身で「大阪エヴェッサ」所属の竹内譲次選手が出席しました。

て練習したプロバスケット選手が誕生することを期待しています」と子供たちにエールを送りました。



左からヒューマンプランニング有井部長、竹内選手、後藤市長、大江教育長



市長コラム No.120

こもれび通り

後藤圭二

どーも

市長の声でお届け



コラムの音声版はこちら

「お先にどうぞ」「あ、ありがとうございます」エレベーターから出る際にはこのようなやりとりをしますし、乗るときも軽く表情で伝えます。

え？しませんか？確かに表情ひとつ変えない人もいらっしやいます。必ずしも皆が見ず知らずの人と出会った際に、会釈や目礼をすることは限りません。シャイで謙虚、遠慮がちな人にとっては、他人と目を合わせ軽く表情を緩めるのは苦手かもしれません。

一方、外国人は他人とでも軽く挨拶を交わすシーンが多いように感じます。それが旅行先の日本で空振りしたとき、文化の違いとはいえ彼らはどんな気持ちになるのでしょうか。ちなみに「会釈」

は日本特有の礼儀作法で、もとは仏教用語だそうです。

車を運転中、合流してくる相手に「どうぞ」と減速し合図したのに、何の反応もなく当然のように前に入ってこられることがあります。お礼の合図をする余裕がないこともあるでしょうし、悪気はないと思いますが、少し残念な気持ちになります。

軽い挨拶は「私は怪しい者ではありませんよ」と相手に伝える意味もあり、それを無視すれば相手に不安や居心地の悪さを与えてしまいます。

「どーも」「まいど」という言葉は便利ですね。それにニッコリ笑顔を添えて。